

# 正念場の中小製造業

下

スマートフォン(スマホ)などを使う精巧な部品の効率的に削り出すには、工作機械の刃先の位置決めがカギになる。そ夫。工作機械会社から引

のセンサーを製造するメキ合いが増え、2年前にトロール(東京都立川市)は大手EMS(電子機器)の2013年1月期の売の直取引が始まった。ス上高は過去最高の15億円の直取引が始まった。ス(前期比1割増)になるマホのモデルチェンジ時見込みだ。

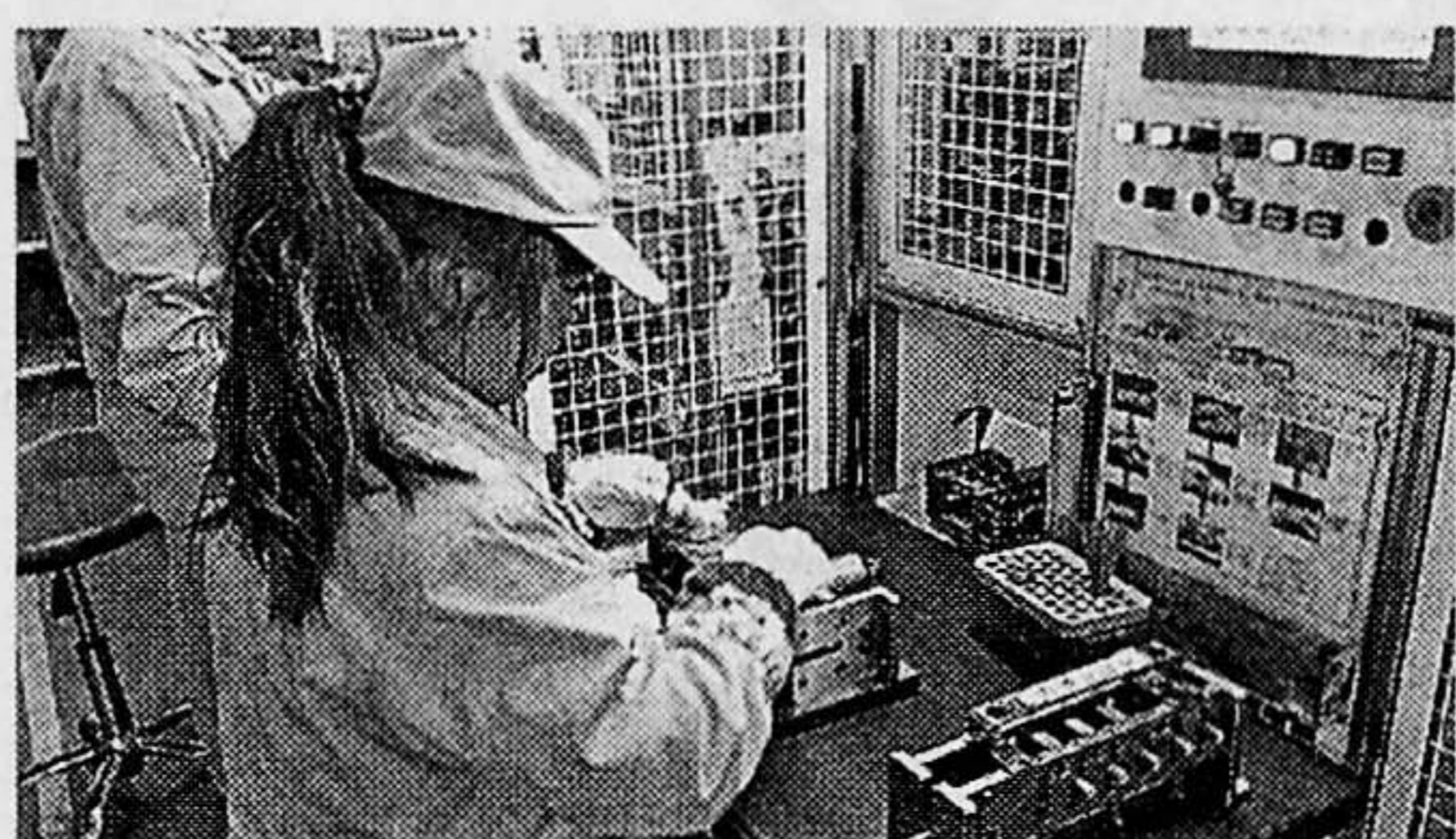
## EMSと直取引

「日本で生き残れている中小企業なら一芸を持っている。情報発信すればチャンスはある」(松橋卓司社長)。同社の場合、中国語のホームページという新市場開拓に向

業の動向に詳しい山口義工場を移転・拡張し、将の動きをとらえた。行・立教大学教授は「新来は生産能力を年間約8興国の購買力が高まり、千本に倍増する。日本国内からの配当などで12年9活躍の余地が広がっている」と指摘する。

特殊油圧シリンダーを供給できるようにし、日や研究開発費の確保など製造する南武(東京・大系自動車メーカー)の部品「海外進出が国内も生か(田)は昨年5月、タイの現地調達比率引き上げす、好循環を生みだして

## 新興国の勢い取り込む



# 「個の限界」突破へ連携

いる(野村和史会長)。新興国の成長力を取り込むことは国内のものづくりに守る糧にもなる。12社で1工場得意技術はあっても資金力の乏しさや事業領域の狭さが成長の壁になっている中小企業が連携して「個の限界」を破ろうとする例も増えてきた。

富士プレス(愛知県大府市)など自動車部品加工12社が共同出資で08年に中国・江蘇省に設立した衆智達汽車部品。プレ

加工、めっき処理、切削など1カ所で行っていた技術をそれぞれ選んで委託する。現在、漆間泰志、白山雅弘、中村厚史、伊藤大輔が担当



自動車部品加工の中小12社が1カ所に技術をもち寄せた(中国の衆智達汽車部品)